

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	2	4	百日咳	0	1
RSウイルス感染症	19	13	ヘルパンギーナ	121	165
咽頭結膜熱	49	38	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	46	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	252	226	流行性角結膜炎(はやり目)	9	14
水痘	38	34	細菌性髄膜炎	0	1
手足口病	161	279	無菌性髄膜炎	1	2
伝染性紅斑(りんご病)	0	0	マイコプラズマ肺炎	2	1
突発性発しん	48	56	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- ヘルパンギーナ

- 感染性胃腸炎 報告数:252件(前週:226件)
地区別:菊池、人吉、有明
年齢別:1歳 44件(17.5%)
- 手足口病 報告数:161件(前週:279件)
地区別:菊池、天草、水俣
年齢別:1歳 70件(43.5%)
- ヘルパンギーナ 報告数:121件(前週:165件)
地区別:菊池、宇城、天草
年齢別:2歳 31件(25.6%)

※手足口病もヘルパンギーナも報告数は減少傾向にありますが、熊本県全体では、引き続き警報レベルにあり、引き続き注意が必要です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所			10	23	57	9	36		18		27	1		7		1		
山鹿保健所	1		8		11	3	5		4		5		*	*				
菊池保健所		11	9	20	69	11	34		7		28							
阿蘇保健所				1	2						1		*	*			1	
御船保健所					4						2		*	*				
八代保健所	1	1		2	11	1	7		4		2							
水俣保健所			2	1	7		11		2		1		*	*				
人吉保健所		2	1		26	1	13		4		8	1	*	*				
有明保健所		5	7		38		18		4		14			1				
宇城保健所			8	5	20	13	13		2		19		*	*				
天草保健所			4	3	7		24		3		14			1			1	
計	2	19	49	55	252	38	161	0	48	0	121	2	0	9	0	1	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上
インフルエンザ	2													1							
小児科定点年齢	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	19	4	2	3	7	2	1														
咽頭結膜熱	49		2	9	8	3	10	6	4	1	3	2	1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55			3	1	5	10	4	13	5	4	1	5	2	2						
感染性胃腸炎	252	3	28	44	37	19	20	15	11	6	5	25	1	18							
水痘	38	1	5	5	7	7	6	1	3		1		1	1							
手足口病	161	4	25	70	32	9	5	6		2	3	1	2	2							
伝染性紅斑	0																				
突発性発しん	48	1	26	18	3																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	121	2	15	24	31	19	9	6	6		5	2		2							
流行性耳下腺炎	2			1									1								
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	9			1	1								1				3		2		1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1								1												
マイコプラズマ肺炎	2									1									1		
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ: 菊池、宇城、天草
- 手足口病: 熊本市、山鹿、菊池、水俣、人吉、有明、宇城、天草
- 咽頭結膜熱: 山鹿

【E型肝炎に注意しましょう】

今週は、E型肝炎の報告が1件ありました。県内での発生は、今年3件目です。豚レバーやシカ肉、イノシシ肉の生食が原因で「E型肝炎」を発症する場合があります。ご自身で肉を調理し喫食する場合は、以下の注意が必要です。

E型肝炎に
注意しましょう

- 豚レバーを含む豚肉並びにシカ及びイノシシなどの野生動物の肉を安全に喫食するための注意点
 - 肉(内臓を含む。)は決して生で食べないようにしましょう。
 - 中心部まで火が通るよう、十分に加熱して食べましょう。
 - 加熱調理を行う肉類は生焼けにならないよう、中心部まで火が通るよう、十分に加熱してください。
 - 生の肉類と加熱済みの肉類は分けて取扱しましょう。取り扱う箸や皿も区別しましょう。
 - 冷凍した肉を食べ、発症した事例もありますので、必ず加熱しましょう。

● E型肝炎とはウイルスの感染によって引き起こされる急性肝炎です。強い全身倦怠感特徴とし、食欲不振、黄疸、発熱などの症状があらわれます。慢性化することはありませんが、稀に劇症化することがあります。特に、妊婦は、妊娠晩期に感染すると劇症化しやすいとの報告もあります。また、高齢者ほど重症化しやすいとされています。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課